

利用案内 2

Tokachidake

十勝岳エリア

十勝連峰は、大雪火山群の南に連なる山々で、中心となる十勝岳は今も活動する活火山である。利用が多いのは十勝岳、美瑛岳、富良野岳などである。
 なお、このエリアの西側（上川地方）は高い前山がなく、連峰の遠望がきくが、東側（十勝地方）は北海道でも有数の山深い地域であり、一般の利用ルートはほとんどが西麓の美瑛、富良野を起点とするものである。

十勝岳エリアマップ



美瑛岳と美瑛富士

美瑛岳 (2,052m)

十勝岳の北に続く山。白金温泉から望岳台を経て十勝岳登山道に入り、途中から左に分かれてボンピ沢を渡渉し、西尾根に登るコースと、白金温泉から山頂北側の美瑛富士避難小屋近くの稜線にとりつくコースがある。岩の積み重なった山頂からの展望がよい。



チングルマ



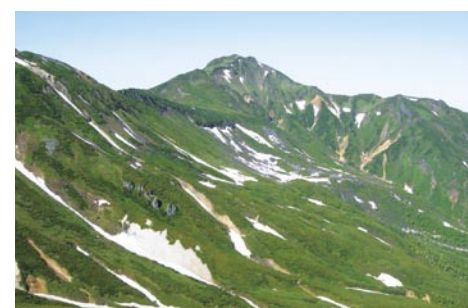
三段山から十勝岳

十勝岳 (2,077m) ・望岳台

望岳台には白金温泉から車道が通じている。正面に噴煙を上げる十勝岳を望む展望地点で、一帯の砂礫地にはイワブクロが多い。ここから吹上温泉を経て十勝岳温泉まで、森林内を歩く歩道がある。十勝岳への登山道は岩礫地に行く。山頂近くには大正火口、グランド火口、62火口など、多くの火口がある。山頂は狭い溶岩ドームで、視界を遮るものはない。登山に際しては登山道入り口の火山情報を確認しよう。なお、三段山、前十勝岳周辺のスロープは、冬季は好適な山スキーのフィールドとなる。



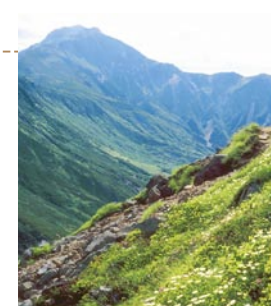
イワブクロ



富良野岳

富良野岳 (1,912m)

十勝連峰の南部にある富良野岳は、早く活動を終えた火山である。そのため、高山植物が豊かである。登山には十勝岳温泉が基地となる。山頂から見下ろす原始ヶ原は魅力的である。また、距離が長く一般向きとは言えないが富良野から布部川沿いに登るコースもある。



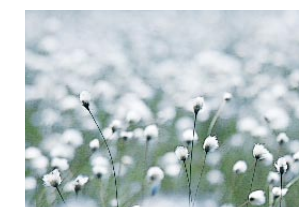
お花畑より富良野岳

原始ヶ原

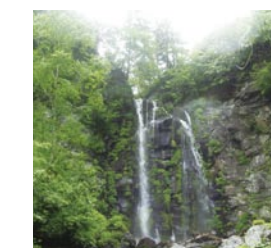
富良野岳の東山腹にある湿原。針葉樹林と湿原が交錯する広大な地域で北方的な景観がすぐれている。富良野からニングルの森を経由する富良野岳登山コースの途中にあり、布部川沿いのコースと林間コースの2本のルートがある。川沿いコースの途中には滝が多い。途中ワイヤーやロープに頼る場所もあるので、足ごしらえには注意が必要である。また、湿原には木道が未整備であり、湿原の荒廃を防ぐためにも、思わぬ事故を防止するためにも歩道以外には立ち入ってはいけない。



原始ヶ原



ワタスゲ



蒼天の滝